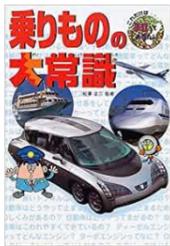


のいものだいすき



の だいじょうしき 乗りもの大常識

やまうち ぶん
山内 ススム/文
まつざわ せいじ かんしゅう
松澤 正二/監修
ポプラ社 53/ノ/06



わたし みの まわりのには、さまざまな乗りものがあり、それは生活になくてはならないものです。

この本では、自転車、車、電車、バスなどの身近な乗りものから、ロケット、船など色々な乗りもののふしぎ、ぎもん、しくみを、やさしく説明してくれます。そのほかに、乗りもの歴史や、乗りもの博物館の紹介もあります。

最後には、乗りもの達人度チェックの問題もあるので、あなたも、この本で、乗りもの博士になってみては？ (小学校 中学年向け)



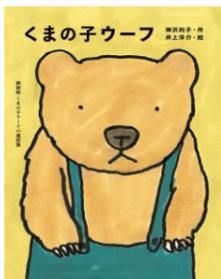
すごいぞ! 「しんかい6500」

やまもと しょうぞう ちよ
山本 省三/著
ともなが たろ/絵
くもん出版 55/ス/12

「しんかい6500」は日本で開発された潜水船で、研究者1名とパイロット2名の合計3名を乗せて深さ6500メートルまで潜ることができます。「しんかい6500」は、いったいどんな仕組みで海に潜るのでしょうか？ また、深海には何があるのでしょうか？

知らない世界をのぞくことができる、ワクワクする本です。小学生はもちろん大人も楽しむことができます。(小学校 高学年向け)

ボランティアさんのおススメ本



くまの子ウーフ

かんざわ としこ さく いのうえ ようすけ え
神沢 利子/作, 井上 陽介/絵
ポプラ社
913/ホフ/07

みなさんは、毎日「なぜ？」ってふしぎに思うことがたくさんあるでしょう。

くまの子ウーフもそんな「？」がいっぱい。この本には9個の「？」の話が出てきます。

わからないと、いつも、おかあさんやきつねのツネタ、うさぎのミミ、きつねのグーたちに聞いて教えてもらうのですが、なにかちがう！ さいごはウーフが自分でかんがえて、自分なりの答えを見つけていきます。

たとえば、めんどりは毎日毎日たまごを生むから、たまごでできているって考えたウーフ。その話をツネタにすると、「ウーフはたまごを生まないかわりにおしっこをするから、おしっこでできているんだらう」と言われてビックリしてしまいます。

さて、ウーフの見つけた答えは？ (おはなしの森)

としょかん じどうしつ
図書館の児童室コーナーにある

オススメの本を紹介します。

かもつせん 貨物船のはなし



やなぎはら りょうへい さく
柳原 良平/作
ふくいんかんしよてん
福音館書店
55/カ/17

ふね むかし わたし せいかつ ささ の
船は、昔から私たちの生活を支えてくれる乗りものです。

この本では、貨物船の歴史がわかりやすく説明されていて、現在のいろいろな種類の貨物船が紹介されています。貨物船だけでなく、客船も登場しますよ。船は美しい貼り絵で描かれていて、貨物船の一部は透視図のようになっているので、どこに荷物が積まれているのかよくわかります。

子どもから大人まで楽しめて勉強になる一冊です。

しょうがっこうていがくねんむ
(小学校低学年向け)

にほん ぎやく それ日本と逆! ?

ぶんか しゅうかん だい き
文化のちがい習慣のちがい 第2期4

すどう けんいち かんしゅう
須藤 健一/監修
がっけん
学研プラス 38/ソ/16-2-4



にほん あ まえ おち てんしゃ の
日本では当たり前と思っている「電車やバスなどの乗りもののマナーやルール」「旅行先で買ってくるおみやげ」などは、世界と比べると「文化と習慣」によっていろいろなちがいがあります。『文化のちがい習慣のちがい 第2期』は1巻から5巻までのシリーズとなっていて、4巻は「乗りもので行楽」について、日本と世界とのちがいが生まれた背景や考え方を分かりやすく教えてくれます。

しょうがっこうていがくねんむ
(小学校高学年向け)

こどもの

あそびにきてね♪

どくしよしゅうかん 読書週間イベント

4.23~5.8



がっ ちち がっ ちち
4月23日から 5月12日までは「こどもの読書週間」!

としょかん だくしよしゅうかん
図書館では、「こどもの読書週間」に合わせて**ブラックパネ**

ルシアターや**腹話術**、**図書館探検**など、楽しいイベントを行

うよ! みんなで遊びに来てね!

春日井市図書館・児童室のご案内

開館時間: 火曜日~日曜日 午前9時~午後8時
休館日: 月曜日(休日の場合は、その直後の休日でない日)
電話: (0568)85-6800
小学校のホームページからもアクセスできるよ
ホームページにあるバナーをクリック →

